



南島原市国際交流員

フランチのチャオ! 南島原 「集団主義と自己主義」



12月号で「宴会」という話題で触れましたが、日本の食事会の目的は人間関係を築きグループの交流を深めることです。しかし、イタリアでは同じようなものはありません。それはなぜかというと、集団より個人の方が大事だと考えるからです。実はこれは、イタリアと日本の文化の違いだけではなく、主に西欧と東洋の考え方が異なることによりです。

日本人は日常生活で個人よりグループのために、またはグループに合わせて動くことが多いようです。例えば、自分から何かを提案するより、グループの意見に合わせて行動します。それに対してイタリア人は行きたいところ・やりたいことをはっきり言って、できるだけ自分の思うようになることに努めます。グループでそれぞれの意見が違って合わせる人が少なければ、けんかになることもあります。日本では「郷に入っては郷に従え」ということわざがあります。その土地に入ったら、自分の価値観と異なっても、その土地の慣習や風俗にあった行動をとるべきことを意味します。

こういった意味合いでイタリアでも同じようなことわざがありますが、日本で最も使われている意味合い



フェスティタス・ナタリスにて

は「何かの集まりのときにその集団のやり方に従う」ということです。

このような考え方は集団主義的であり、イタリアでは考えられません。しかしながら、イタリア人は自分のことしか考えない人が多いので、協力してもらえることが難しいという面もあります。この場合、日本人を見習って皆の幸せのためにイタリア人も協力し合えることができればいいと思います。

一方で日本人は何もかも集団のやり方に従わず時にはイタリア人のように自由に行動できればいいと思います。

フランチの「ヴォーノ!!イタリア料理講座」

企画振興課 ☎050(3381)5030 FAX0957(82)3086

Eメール: chiikiseisaku@city.minamishimabara.lg.jp

イタリアからの国際交流員フランチスカのイタリア料理講座を開催します。
簡単なイタリア語・イタリア文化を勉強しながら楽しく料理を作ってみませんか?
お子様連れでも大丈夫です。

※「ヴォーノ」とは、イタリア語で「おいしい」という意味。

受講生
募集



メニュー：お肉のシチューとポレンタ

☎2月23日(火) 午前10時30分～午後1時30分

☎有家保健センター

定20人(先着順)

料600円(参加人数で変動)

☎1月20日(水) 午後5時まで

☎電話、FAX、Eメールで申し込んでください。



つなごう未来へ!
島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークで あり続けるための取り組み



島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジオくん」

☎0957(65)5540



島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジオちゃん」

ジオサイト② 冬の雲仙を彩る“氷の花”『霧氷』

冬を迎えた雲仙の山々は時に白く光り輝きます。

これは、山の木々の枝に霧氷が付着するためです。霧氷は、氷点下の中で樹木に付着して発達した氷の総称で、地元の人から「花ぼうろ」という呼び名で親しまれています。これはある気象条件がそろった時にきれいに成長しますが、なぜ霧氷ができるのでしょうか。また、どのような時にきれいな霧氷を観察できるのでしょうか。

通常、気温が0度を下回ると、空気中の水分が凍り始め、氷の粒ができます。これが大きく成長し、重くなって地表に落下し始めた時、溶けることなく氷のまま地表に達した粒が雪です。ところが、ちりやほこりがほとんどない、きれいな空気の中では、空気中の水分は気温が0度を下回っても凍りません。ただし、0度以下の水分を含んだ空気が小枝などにぶつくと、小枝の表面にぶつかった水分が一気に氷になり、枝にくっきます。これが繰り返されると、小枝から風上側に向かって、氷が薄い板のように伸びていきます。これが霧氷です。

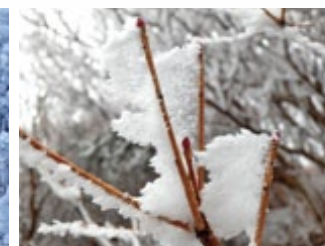
霧氷は、その特徴によって大きく3種類(樹氷・粗氷・雨氷)に分けられます。

樹氷は白くてもろい霧氷のことで、風速が毎秒5メートル以下の、風の弱い日にできます。

粗氷は、氷の板が成長する方向に気泡が一行に並んだ硬めの霧氷のことで、気温がマイナス4度以下で、風速が毎秒5～20メートルのやや強い風の中でできます。



冬の雲仙を彩る霧氷



木の枝に成長した霧氷。風が左から右に吹き付けたことを表しています

雨氷は比較的气温が高い条件下で水分が木の枝に付着してできた透明な霧氷のことで、気温がマイナス4度以上で、風速が秒速30～40メートルの時にできます。

雲仙岳の山頂付近では、粗氷に分類される霧氷が成長することが多いようです。それにしても、温暖な九州であるにも関わらず、雲仙の山々ではなぜきれいな霧氷が見られるのでしょうか。

冬になると、北や北西から季節風が吹きつけます。この季節風は東シナ海を通過してくる際に多くの水分を含むようになります。この水分を含んだ季節風が長崎県内で最も高い標高1,500メートル近い雲仙岳にぶつくと、風の中に含まれている水分が木の枝にぶつかり、きれいな霧氷を創りだすのです。海に囲まれた場所に、度重なる火山噴火によって大きく成長した雲仙岳があることが、霧氷ができるのに適した自然環境をつくりだしたといえるでしょう。

1月から2月にかけて、雲仙の山々では霧氷を楽しむことができます。この時期にしか味わえない幻想的な風景を眺めに雲仙の山に出かけてみてはいかがでしょうか。

今回は「天如塔と霊丘公園」を紹介します。

島原半島在住・出身者限定「がまだすドーム入館料半額割引キャンペーン」

**がまだすドーム
特別入場割引券(5割引)**

有効期限：平成28年1月31日

当館インフォメーションにて入場券をご購入ください。他割引との併用はできません。
本券1枚で1団体様のご利用となります。精算後の払い戻しはできません。

*広報南島原 平成28年1月号 掲載分

今年、43人の犠牲者をもたらした雲仙普賢岳の噴火災害から25年を迎えます。当時の出来事について多くの人たちに再確認してもらいたいとの思いから、雲仙岳災害記念館では「入館料半額キャンペーン」を実施します。この機会にぜひ家族揃ってご来館ください。

通常	特別料金(一般)
大人 1,000円	大人 500円
中高生 700円	中高生 350円
小学生 500円	小学生 250円

生きている地球を体感! 大地の鼓動に触れるジオ・ミュージアム

がまだすドーム

〒855-0879 長崎県島原市平成町1-1 ☎0957(65)5555
http://www.udmh.or.jp 営業時間 9:00～18:00(最終入館 17:00)